

2017年3月31日

経済レポート

2017年2月の鉱工業生産指数の結果

～2月の鉱工業生産指数は前月比+2.0%の上昇～

調査部 主任研究員 中田一良

2月の鉱工業生産指数の結果

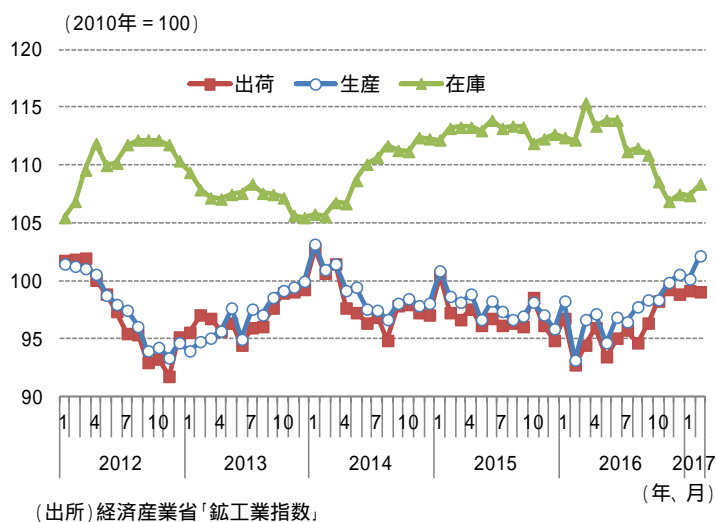
2月の鉱工業生産指数は、前月比+2.0%と2か月ぶりに上昇し、持ち直している(図表1)。出荷指数は前月比-0.1%と低下し、在庫指数は同+0.9%と上昇した。

2月の生産指数の動向を業種別にみると、電子部品・デバイス工業は前月比-1.6%と5か月ぶりに低下し、電気機械工業は同-0.3%と低下が続いた(図表2)。他方、輸送機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業、化学工業(除く医薬品)などは上昇した。輸送機械工業では乗用車、自動車部品、はん用・生産用・業務用機械工業では産業用ロボット、運搬機械、化学工業(除く医薬品)では化粧品などが鉱工業生産指数全体の上昇に寄与した。

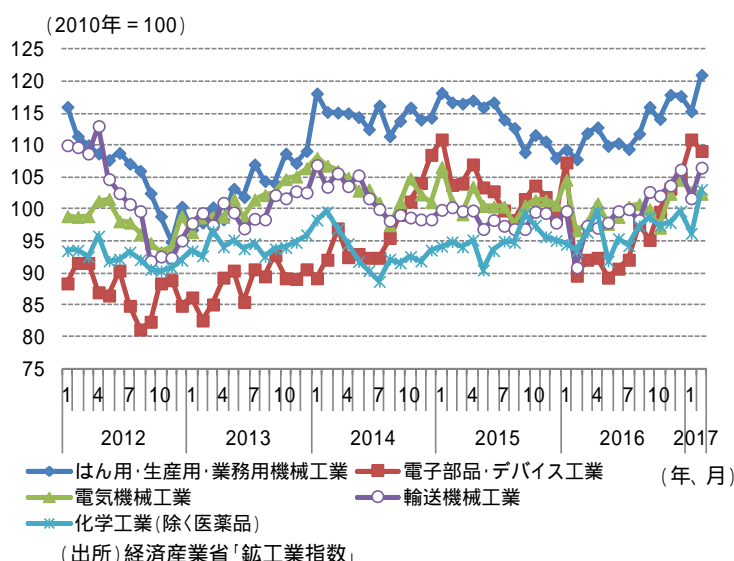
財別では、非耐久消費財は化粧品や合成洗剤を中心に前年比+3.8%と3か月連続で上昇し、耐久消費財は普通乗用車や軽乗用車を中心に前月比+4.9%と2か月ぶりに上昇した。また、資本財(除く輸送機械)、生産財、建設財もそれぞれ上昇した。

在庫指数は、2016年12月以降、上昇傾向にあるが、2月の動向を業種別にみると、輸送機械工業、鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業などで上昇した。

図表1 生産・出荷・在庫の推移



図表2 業種別の生産動向



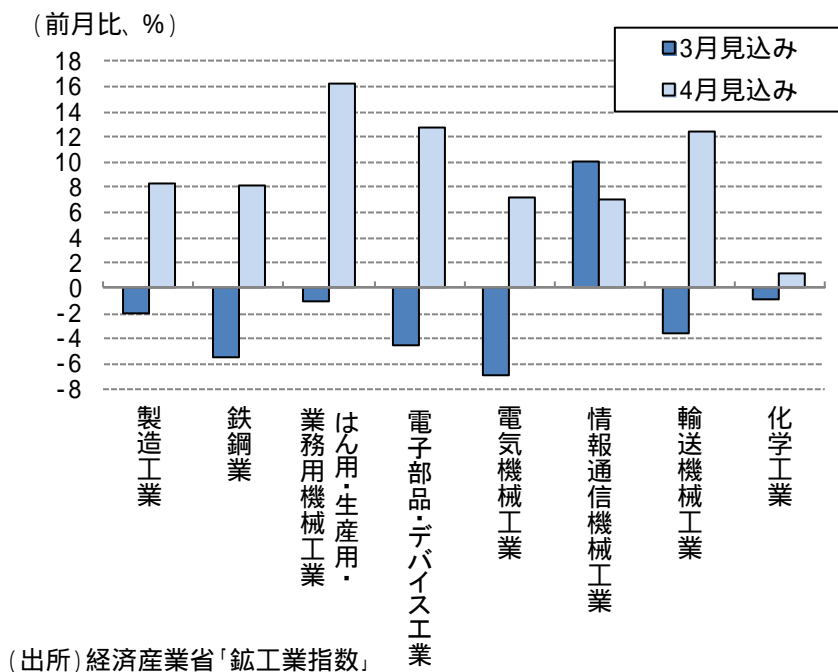
今後の見通し～製造工業生産予測調査の結果

3月の製造工業生産予測調査によると、製造工業生産予測指数は、3月は前月比-2.0%と低下した後、4月は同+8.3%と大きく上昇する見込みとなっている(図表3)。

業種別にみると、3月は情報通信機械工業、紙・パルプ工業以外の業種で低下すると見込まれており、中でも電子部品・デバイス工業、電気機械工業、鉄鋼業の低下幅が大きくなっている。4月は、紙・パルプ工業、非鉄金属工業以外の業種で上昇し、特にはん用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業で大幅な伸びが見込まれている。

3月は多くの業種で低下が見込まれているため、製造工業全体の生産指数は低下すると予測されるが、例年3月は実績が予測を上回る傾向がみられることから、低下幅は予測調査の結果よりも小幅となる可能性がある。

図表3 製造工業生産予測調査による見込み(主な業種)



ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。